

都道府県名：岩手県	市町村名：奥州市
1. 活動名 「22 世紀ブナの森づくり」	
2. 取組の背景、目的 北上川右支川胆沢川は、全国でも有数の清流を誇る川として知られています。このきれいな水を下流域に、そして後世に伝えていくために、水源地自然生態系の保護育成を図ることを目的としています。 また、上下流住民の協働による森づくり活動により、北上川（胆沢川）流域の連携と協調で、活力ある地域をつくります。	
3. 実施主体 エコワークいさわ水の郷、奥州市、北上川流域市町村連携協議会、胆沢平野土地改良区	
4. 取組の概要 全国でも有数の清流を誇る北上川右支川胆沢川。このきれいな水を後世に伝えていくことが、水源のまち及び流域市町村の使命であると考え、平成 12 年度より水源地保全活動『22 世紀ブナの森づくり』を胆沢川から北上川に至る上下流と交流を図りながら実施してきました。 主な取り組みとして、胆沢川の水源地でもある「石淵ダム」周辺へのブナ植樹と北上川の河口である宮城県石巻市（旧北上町）での海岸清掃活動を行ってきました。	
5. 支援事業 共催団体の事業費負担金及び協賛団体による協賛金	
6. 取組等についての成果や課題 【成果】 これまでブナを中心として 6,150 本、面積約 4.5ha の植樹を実施しました。参加者は述べ 3,430 人となり、水源地保全の啓蒙活動として大きな役割を果たしています。 育樹活動にも力をいれており、毎年地元企業を中心としたボランティア活動により、下草刈りも行われ、これまで植樹した木が順調に生育しています。 植樹活動には北上川の源流や河口からの参加者も多く、上下流の交流の場にもなっています。 北上川河口へは、清掃協力として海岸清援隊を編成し、毎年清掃活動を行い、これまで述べ 441 名が参加しました。 【課題】 年々参加者が減少してきていますが、継続して取り組んでいくことが重要です。	



実施日：平成 15 年 10 月

参加者数：567 名

ブナの苗木植栽

幼児、小学生から大人まで幅広い年代が参加。

石巻市十三浜漁協の皆さんも参加しての植樹



実施日：平成 16 年 8 月

参加者数：55 名

下草刈作業



実施日：平成 17 年 10 月

参加者数：400 名

ブナの種まき



実施日：平成 17 年 10 月
参加者数：400 名
ブナの種まき
(植栽ポットへ)



実施日：平成 21 年 10 月
参加者数：100 名
ブナ等の植樹
幼児、小学生から大人まで幅広い年代が参加。



実施日：平成 21 年 7 月
参加者数：55 名
上下流交流 海岸清掃活動清掃状況
北上川上流からのゴミや木材等の漂着物を清掃し交流を深めた